

## 平成26年度第1回内灘町地下水採取規制審議会 議事録

日 時 平成27年2月27日（金） 午後2時から午後3時まで

場 所 内灘町役場 4階 404・405会議室

出席者 ・委員 池本委員、松岡委員、生田委員、川辺委員、坪内委員  
島田委員、濱田委員、松川委員、長丸委員の計9名  
・事務局 岩本環境安全課長、堀川課長補佐、夷藤主事、  
中川主事の計4名  
・コンサルタント (株)利水社 真田氏、小川氏

欠席者 なし

1. 開 会

2. 委嘱状の交付

3. 会長の選任  
会長は池本氏、会長職務代理者は松岡氏に決定。

4. 議 件

(1) 井戸設置許可申請に係る諮問事項

事務局より以下の内容について説明

- ・井戸設置許可申請について
- ・地下水シミュレーションモデル（井戸掘削に伴う影響予測評価）  
について

会 長 揚水コスト、井戸枯渇の影響評価において第3帯水層でC判定とな  
ったが、第3帯水層で最も近い井戸はどこか。

事務局 No.132の農業用井戸です。

- 会 長 取水している間は40cm水位が下がるということですか。
- 事務局 連続で22時間稼働した場合の22時間後の水位影響量です。
- 委 員 アカシア1号水源は水道用としてはもう使用していませんね。
- 利水社 廃井となっています。
- 委 員 栗五畑地かんがい井は栗五畑地灌がい井戸と近い距離で掘替えしているが、理由は何か。今回の申請井戸とも距離が近く、何か影響することがあるか。
- 事務局 老朽化による掘替えです。
- 委 員 老朽化による掘替えで、その地域の地下水に原因があるわけではないということですね。
- 会 長 農業用の井戸に対しても審議会にかけるのですか。
- 事務局 そうです。
- 会 長 今回の申請井戸は、のと里山海道に繋がる重要な道ですが、交通量はどれくらいあるのか。
- 委 員 のと里山海道には2万台の通行量があり、その約半分の1万台がこの道路を通ります。
- 会 長 重要な道路であるということですが、今回の消雪用井戸を掘ることが全く地下水に影響を与えないというわけではないということが今回の評価結果であるということです。地盤沈下に関しては、経年的な要素があつての結果ですが、影響はあるということですので、許可ではなく、条件付き許可という形でどうか。
- 委 員 異議なし

(2) その他

事務局より以下の内容について説明

- ・平成25年度地下水位等観測調査結果について

- 会 長      アカシア1号井の水位が回復しているのはどのような理由か。
- 利水社      アカシア1号井は道路上の雨水が井戸に入り大きく変動します。第1帯水層については、降雨の影響を受けやすいため、アカシア1号井だけでなく他の井戸も回復しています。
- 委 員      農業用No.77の塩化物イオン濃度が大きく変動しているがどうか。
- 利水社      海岸に近いことと、農業用であるため稼働時に急激に揚げる必要が要因として考えられる。
- 委 員      金沢市栗崎や、栗崎浜町にかけての工業団地では井戸を掘っているのか。
- 事務局      金沢市も数年前に条例を設けて規制はしている。
- 委 員      金沢市の井戸の情報はシミュレーションに入っているのか。金沢市の井戸が干渉している可能性があるのか。
- 事務局      入っていない。本来はより広い範囲で把握をする必要がある。
- 会 長      金沢市は周辺市町と連携して地下水問題をやっていきたいと言っている。是非金沢市と石川県と連携できればいいと思っています。
- 委 員      地盤沈下は重要な問題であるということを町民の皆さんにも伝えるようにしなければならない。今後は、消雪は欲しいけれど、地盤沈下の影響があるということを理解していただくことも必要である。